

平成30年5月
発行：あらい一徳
あらい一徳県政調査事務所
〒364-0031 北本市中央1-81
Tel.048-594-1600 Fax048-594-1602

県政調査事務所は、月～金のAM9:30～PM5:30に
開設中。ご意見ご要望をお寄せください。

埼玉県議会議員

あらい一徳

安心、安全で豊かな暮らしの実現を目指して

本年度も安心・安全で豊かな暮らしの実現のために全力投球!!

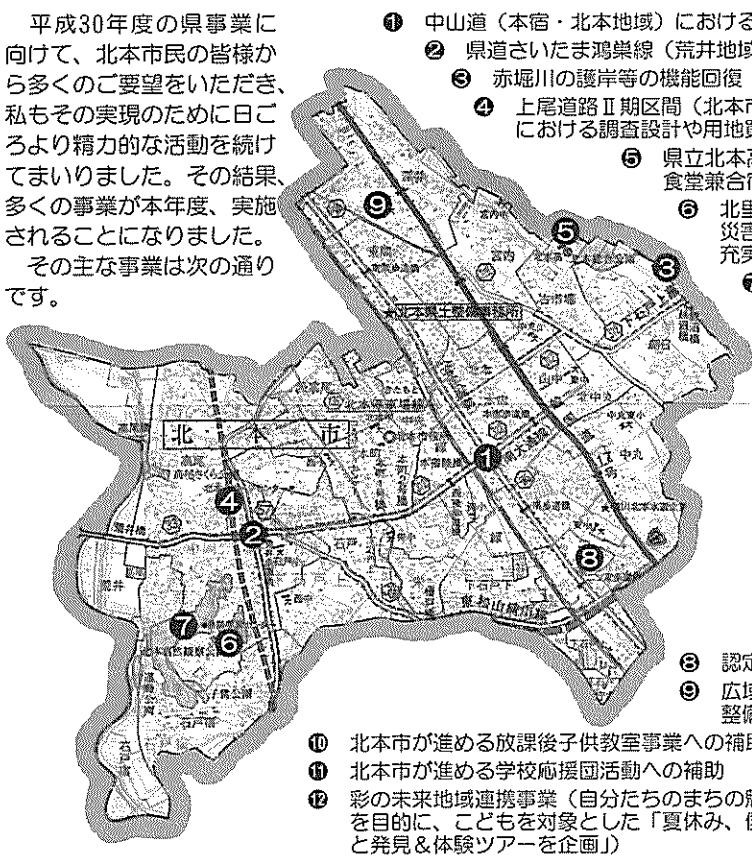
平成30年度が始まりました。本年度、常任委員会は総務県民生活委員会に、特別委員会は自然再生・循環社会対策特別委員会に所属するとともに、自民党議員団では団運営の要となる幹事長代理に就任いたしました。

昨年度は警察危機管理防災委員長として、相次ぐ振り込め詐欺や高齢者の交通死亡事故の撲滅、さらには猛威をふるう自然災害への万全な備えなどを念頭に、県民の安心・安全を守るための取り組みを精力的に進めてまいりました。本年度も、私がモットーとする「安心・安全で豊かな暮らしの実現」を目指して、日々の県政活動に汗を流してまいります。

あらい一徳県政報告第15号では、1兆8,657億6,000万円を計上した平成30年度一般会計予算に関連して、その予算案を審議する特別委員会における私の質疑や、北本市関連の本年度予算の事業、また、日々の政治活動についてご報告させていただきます。

本年度も北本市関連予算が多く盛り込まれる

平成30年度の県事業に向けて、北本市民の皆様から多くのご要望をいただき、私もその実現のために日ごろより精力的な活動を続けてまいりました。その結果、多くの事業が本年度、実施されることになりました。その主な事業は次の通りです。



- ① 中山道（本宿・北本地域）における道路整備など
- ② 県道さいたま鴻巣線（荒井地域）における舗装整備
- ③ 赤堀川の護岸等の機能回復
- ④ 上尾道路Ⅱ期区間（北本市石戸宿～鴻巣市箕田）における調査設計や用地買収などを継続
- ⑤ 県立北本高校の耐震化事業で、食堂兼合宿所の補強工事
- ⑥ 北里メディカルセンターの災害拠点病院としての充実・強化
- ⑦ 埼玉県自然学習センターの改修事業
- ⑧ 認定こども園整備への補助
- ⑨ 広域型特別養護老人ホーム整備への補助
- ⑩ 北本市が進める放課後子供教室事業への補助
- ⑪ 北本市が進める学校応援団活動への補助
- ⑫ 彩の未来地域連携事業（自分たちのまちの魅力を知ってもらうことを目的に、子どもを対象とした「夏休み、僕の私のまちの、おしごと発見&体験ツアー」を企画）

予算特別委員会として、平成30年度予算案を審議

2月定例会では、1兆8,657億6,000万円を計上した平成30年度一般会計予算案をはじめとする各予算案を審議する予算特別委員を務めました。

各予算案が県民生活の向上に資するものとなっているかどうかを詳細に分析しつつ、各部署に対して、本年度の予算編成の狙いや目的、事業効果などを質しました。主なやり取りは次の通りです。

イベントはより広く、多くの県民が参加できる工夫を

質問 県民生活部が主催するイベントには、平日開催のものや、本来の目的に合致しないような内容となっている事例が散見され、また、開催場所の遍在といった問題も抱えている。より広く県民の参加を考えるのであれば、全てのイベント

トを一度、総ざらいして、再検討する必要があると考えるが、いかがか？

県民生活部長 県としても、「指摘の点は意識している。例えば、偏在については、イベントは多くの人に來てもらふ必要があるが、中央地域にかたまっているのは事実である。今後は、「指摘の点も踏まえて、県内各地から、より多くの県民」に参

農業振興のために、公共事業費や研究員の確保を

質問 過去15年ほどで、農業関係の公共事業費は半減し、新品種の開発などを担う研究員も半数に減らされた。埼玉農業の今後には悪影響が出ないように、農林部として予算や人員の確保にしっかりと取り組むべきと考えるが、いかがか？

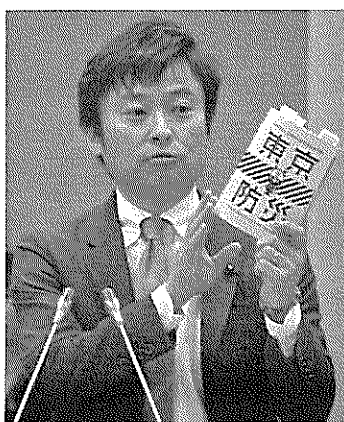
農林部長 国の予算がかなり減っている中で、県の公共事業費も減っており、農業農村整備事業などでは、地元の要望にすべて応えられていないのは事実。そうした中、生産性向上に必要な事業や緊急的に整備が必要な事業を重点的に行うことで対応している。「指摘の点を踏まえ、予算や人員の確保に努めていく。」

自主防災組織の活性化に、地域人材の積極的活用を助け合いは「近助」の精神で

質問 県では、災害に備えた自主防災組織の結成を促し、組織率も上がってきているが、実際には休眠状態になっている組織もあり、訓練もマンネリ化といった課題があると聞く。県内には、警察や消防などのOBが多数存在する。防災人材バンクを作って、人材活用し、先に挙げた課題の克服に努めてはどうか？

危機管理防災部長 そういったOBの方々には地域の防災の安全、安心を守る役割を担っていただくことは非常にありがたい。例えば、川島町では、「指摘のような防災人材バンクを設置している。今後、市町村を交えた会議の場で、防災人材バンクの開設を呼びかけてみたいと思う。」

東京オリンピックに向けて受動喫煙対策の強化を



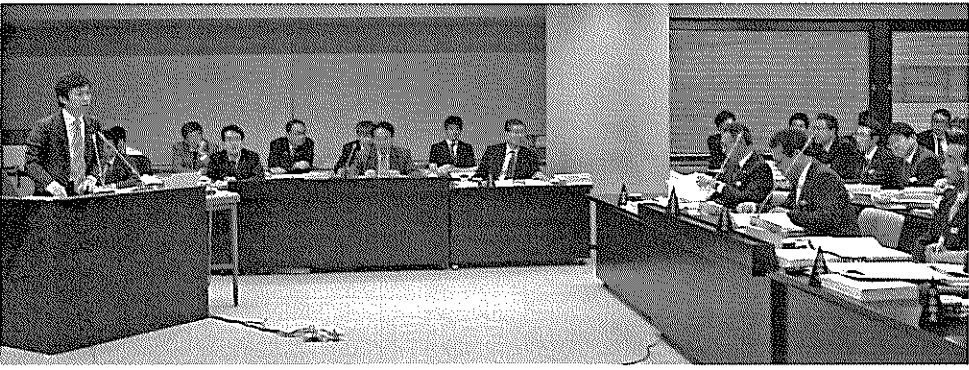
質問 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、受動喫煙防止について上田知事は「国の規制や東京都を超えるような認証制度を用意したい」としているが、どのような制度を考えているのか？

保健医療部長 国の改正法案は喫煙専用室の設置を可とする「原則屋内禁煙」となるため、それよりも厳しく、喫煙専用室の設置をしない「屋内完全禁煙」または屋内に加えて敷地内も禁煙とする施設を認証する制度を検討中だ。

振り込め詐欺の撲滅に向けた 組織の抜本的な見直しを

質問 振り込め詐欺などの特殊詐欺への対策は、県警察にとって、今後、最も重要な事業の一つであると考えます。特殊詐欺の啓蒙、予防、摘発などを一体的に行う組織として、県警察トップの本部長直轄の課や部などを新設すべきと考えますが、いかがですか？

警察本部長 県警察本部として、組織・基盤の強化に力を入れており、現在の治安情勢に的確、機敏に対応するため、組織体制、施設や装備の整備充実を図っているところだ。御指摘のさらなる組織のあり方については、現体制の対策推進状況などを踏まえ、その必要性も含めて検討していきたい。



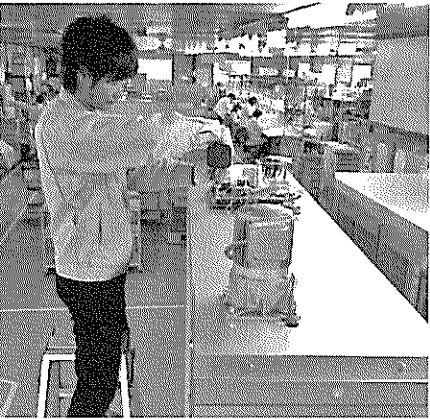
小規模企業振興 基本条例を制定

小規模企業は地域に根ざして、地域の需要に応え、雇用を担うなど、地域活性化に貢献しており、なくてはならない存在です。

本県は今後、全国一のスピードで高齢化が進行すると指摘されており、生産年齢人口の減少による社会の活力の低下が懸念されています。そうした情勢下で、小規模企業は海外との競争激化や、売上の減少、経営陣の高齢化や事業継承者の不足など、さまざまな課題を抱えているのが実情です。

こうした中、小規模企業が経済状況を維持することや新たな事業展開に乗り出すことなどが、当該企業のみならず、地域全体の活性化につながることを、昨年12月定例会で、私も自民党議員団の提案により、「埼玉県小規模企業振興基本条例」を制定いたしました。

この条例は、小規模企業の振興の基本となる事項を定め、小規模企業の事業の持続的な発展を図ること、県経済の活性化や県民生活の向上に寄与することが目的です。



具体的には、

- ① 多様な需要に応じた商品販売・役務提供の促進
 - ② 新たな事業展開、創業の促進や事業承継の円滑化
 - ③ 経営に必要な人材の育成・確保
 - ④ 商工団体の活動の促進
- などを通じて、小規模企業の振興を図っていきます。

本年度 赤堀川を 氾濫防止のために改修へ

近年、経験したことのないようなゲリラ豪雨や台風などにより、各地で河川が越水・溢水し、浸水被害が多発しています。北本市においても昨年10月、関東を直撃した台風21号が原因となり、朝日地区において大規模な浸水被害が発生し、県道が通行止めになったほか、大規模集合住宅であるフコローイヤルガーデン(RG)をはじめとする地域住民の日常生活に大きな影響が出ました。



今回の浸水は赤堀川の溢水と、土壌が低いための内水氾濫という二つの要因が重なって発生したと考えられています。11月にはフコローイヤルにおいて、県や市、土地改良区を

交えての勉強会を開き、今回の浸水被害のメカニズムなどについて、共通認識を新たにするとともに、自主防災組織の活動の重要性についても意見交換をすることができました。

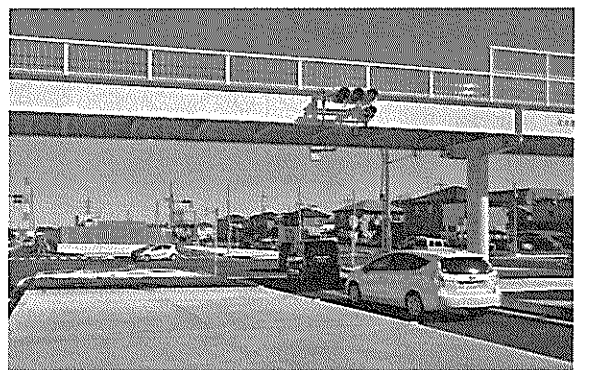
台風襲来などに備え、浚渫や 護岸整備を実施

こうした意見交換会などを踏まえ、私は赤堀川の改修を県に対し、再三再四、要望してきました。その結果、前述した通り(北本市関連予算③)、県の平成30年度一般会計予算に、赤堀川の改修策として、浚渫して水深を確保することや護岸整備の費用などが盛り込まれました。今後、地域住民の安全のため、長期的視点に立つての抜本的な改修を引き続き、要望していきます。



一ツ家交差点(中仙道交差点)の 渋滞を解消へ

北本市は圏央道(首都圏中央連絡自動車道)や上尾道路1期区間の開通などにより、関東地方の都市とのアクセスが容易になるなど、利便性は確実に向上しています。その一方で、北本市内における車両の交通量は確実に増加しており、そ



のことが各地で交通渋滞などを引き起こしています。

圏央道開通に伴って改良された一ツ家交差点(県道東松山桶川線と中山道との交差点)では、朝夕の時間帯の交通渋滞が日常茶飯事となっていました。通行車両の右折が認められる秒数が極めて短いことが原因で、特に東松山方面から来た通行車両が、桶川方面に右折できる車両数が限られてしまったため、結果として交通渋滞を引き起こしてしまっていました。

信号サイクルを見直し、桶川 方面に右折できる秒数を延長

こうした状況を踏まえ、利用者の皆様から「右折できる秒数を延ばしてほしい」とのご要望をいただき、県警察本部と協議を重ねてきました。その結果、この交差点での信号サイクルを抜本的に見直し、渋滞が起きやすい午前7〜9時と午後5〜7時の間、右折できる時間を5〜8秒延長していただきました。この結果、一ツ家交差点での交通渋滞が緩和されつつあります。今後、交通円滑化のために、交通渋滞の緩和に向けた取り組みを積極的に進めたいと考えています。

本年度の所属委員会が決定、自民党議員団の幹事長代理に就任

本年度は、常任委員会は総務県民生活委員会、特別委員会は自然再生・循環社会対策特別委員会に所属することが決まりました。

総務県民生活委員会は総務部と県民生活部を所管し、両部に関する事項を審査する委員会です。職員の待遇改善といった県庁内部の課題をはじめ、入札・契約制度、NPO活動の推進、青少年の健全育成、スポーツ振興、男女共同参画、防犯の街づくり活動など、日々の生活に密着した幅広い分野をカバーします。

自然再生・循環社会対策特別委員会は、自然環境の保全・再生や地球温暖化、省エネルギー対策、廃棄物の処理などの総合的な対策を検討する委員会、具体的な政策提言を積極的に進めます。

自民党議員団では、幹事長代理に就任いたしました。幹事長代理は回運の要です。本年度も、北本市民をはじめとする県民の皆様の声に真摯に耳を傾けつつ、責任をもって県議団としての意見を取りまとめ、県の政策へと反映できるように全力投球する覚悟です。ご支援をよろしくお願い申し上げます。